

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	行動科学		
英文授業科目名	Behavioral Science		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	清水 豊		
居室	西5 - 201		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimizu@se.uec.ac.jp	http://ushiku2.se.uec.ac.jp/lecture.html

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題： 対象を見たり聞いたりすることに起因して起こる行動の特質を生体の情報処理メカニズムという視点から追求すると共に、こうした特性を配慮して機器システムや社会環境に応用する方法について習得します。</p> <p>(b) 達成目標： 五感情報処理の特質を理解した上で、人間特性の計測法とデータ処理法の習得、得られた結果の利用法などの応用力を身につけます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特にありません。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
予め心理学の知識があると理解が容易です。

【教科書等】
教科書は使いませんが必要に応じて参考書を紹介します。

【授業内容とその進め方】

授業内容：

- 第1回： 人間の心理特性としての行動様態
- 第2回～第5回：五感情報処理の共通性・特殊性と行動
感覚・知覚・認知
感覚系の情報処理量
知覚・認知の特殊性
レスポデント行動とオペラント行動
- 第6回～第9回：人間特性の計測法
生理的計測と心理的計測
閾値の計測法
評価・判断の計測法
行動の計測法
- 第10回～以降： 人間特性の応用
標識とピクトグラム
感性評価と応用
ヒューマン・インタフェース
福祉機器

授業の進め方：

プレゼンテーションを多用してわかりやすく解説します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

試験の出来具合と出席状況によって評価します。

評価基準：

1. 専門用語の習得度 30%
2. 行動特性の基礎的理解力 30%
3. 応用への展開力 20%
4. 出席状況 20%

を評価の割合として、60点～69点を可、70点～79点を良、80点～89点を優、90点以上を秀とします。

【オフィスアワー：授業相談】

予めメールにて予約してください(基本的には月曜日～水曜日の12:15～13:30, 17:00～18:00です)。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【学生へのメッセージ】

人間中心のシステム、社会、環境を考える場合に、人間の認知・判断・行動を客観的に把握することは理工系の学生にとっても有用なことであると思います。たとえば、皆さんは操作ミスが少ない、疲れにくい、使いやすいパソコンはどのようなものであると思いますか？このような問題を評価するのに必要な概念に授業を展開します。

【その他】